

Information
for **PARENTS:**
JAPAN

THE GLASGOW
SCHOOL OF ART
GSA.AC.UK/INTERNATIONAL



Glasgow School of Art のご紹介

世界で最も影響力を持ち成功を収めている数々の芸術家やデザイナー、建築家を輩出している実績を誇るGlasgow School of Art (GSA) のスタジオベースの専門的で実践重視型の教育は、ビジュアル文化に対する情熱と関心を共有する世界中の有能な個人を惹きつけています。

1845年に創立されたGSAは、英国では数少なくなつた独立系美術学校の一つで、1899年以来、グラスゴー中心部を本校の拠点としています。2,400人以上の学生がGSAの多様な学生コミュニティを形成しており、そのうち35%は英国外の出身者です。

GSAの学生は、学習や創作のために、本校および個別の学科内の先端的でユニークな施設を利用できます。GSAでは、プログラム間のコラボレーションや作業に対する学際的なアプローチが奨励されています。

2018年6月15日金曜日に、GSAのマッキントッシュ校舎で大火災が発生したというニュースをお耳にされたかもしれません。マッキントッシュ校舎では大規模な修復工事が行われていたため、現在のGSAキャンパスの一部として使用していなかったことは既にご存知かもしれません。学生の福祉は本校にとって最優先事項であり、2018年9月に始まる新年度の在校生と新生入生に影響が及ぶことはありませんので、ご安心ください。

当学のランキング

アートとデザイン課目では、Glasgow School of Artは英国で4位、ヨーロッパで5位に、そしてQS世界大学ランキングでは16位にランクされています。マッキントッシュ建築学部は、Architect's Journalにより一貫してスコットランドで最高の建築学科としてランクされています。本学の建築科の学生は、権威ある王立英国建築家協会 (RIBA) 会長銅メダル賞で優れた成績を修めており、2015年には会長銀メダル賞 (最高の栄誉) が授与されました。本学のファインアート学科の卒業生はターナー賞 (英国で最も権威のあるビジュアルアート賞) を5回受賞しており、2005年以来、ノミネートされたアーティストの25%を占めています。

学生向け宿泊施設

GSAが運営する宿泊施設

GSAの新生入生は、本学の学生用に特別に建てられた寮、Blythswood HouseまたはMargaret Macdonald Houseのいずれかに入居することができます。それぞれWest Regent StreetとBuccleuch Streetに所在する両方の寮とも、Garnethillのメインキャンパスから徒歩5分以内の距離にあります。

当学はすべての寮を所有しているため、学生は第三者とやり取りする必要がなく、学生に寮の職員チームが24時間体制で応答しています。当学の寮では、学生福祉やGSAスポーツ、サステナビリティなどの学内の他の部署との貴重なつながりも得られます。

民間の賃貸住宅

この場合は通常、当学とは無関係の大家から住宅を賃貸します。これには独居、他の何人かの学生とのハウスシェア、または大家の宅への下宿という形態が考えられます。グラスゴーでは、営利業者が運営する学生宿舎という選択肢も可能です。当学の学生福祉課は、グラスゴーや、学生が住む場所として考慮の対象となりうるエリアについての一般的な情報を提供することができます。

通学およびグラスゴー市での移動手段

グラスゴーには、主要空港であるGlasgow Internationalと、より小規模なGlasgow Prestwickの2つの空港があります。Glasgow International空港からグラスゴー市内まで専用のバスが運行されていますが、大きな荷物を持って到着する学生は、空港のタクシー乗り場からメーター制のタクシーを利用すべきでしょう。タクシー乗り場のタクシーはすべて運用認可を受けています。グラスゴー市内までの運賃は約20ポンドで、所要時間はおよそ20分です。

Garnethillキャンパスは、グラスゴーの鉄道本線のGlasgow Central駅およびQueen Street駅から徒歩で約15分の位置にあります。当学は高速道路のM8を含む主要なすべての進入路から簡単にアクセスできます。

最寄りの鉄道駅はCharing Crossで、最寄りの地下鉄駅はCowcaddensです。また、グラスゴーではバスも多数運行しており、この都市の主なバス発着駅 (Buchanan Bus Station) は、当学のキャンパスからRenfrew Street沿いに徒歩5分の距離にあります。長距離バスもこのバス発着駅から出発しています。

グラスゴーでの生活

グラスゴーには何世紀も前まで遡る音楽の伝統があり、西ヨーロッパでも最も素晴らしいライブ音楽の場の一つとして有名です。クラシックやオペラ、インディーやポップまで、あらゆる趣向に合ったさまざまな音楽や劇場体験を豊富に満喫できます。さらに多数のレストランやギャラリー、美術館・博物館があるので、この都市で開催される多数のフェスティバルを除いても、できることはいくらでもあります。

当学の学生は、グラスゴーの幅広いクリエイティブコミュニティに簡単に参加することができます。また、この都市で活躍しているアーティストやデザイナー、建築家の作品を見たり、実際に会うような機会もたくさん得られるでしょう。

グラスゴーでの安全

グラスゴーおよび英国の犯罪率は概して低く、Mercerの生活環境調査では、グラスゴーは一貫して英国で最も暮らしやすい都市の一つにランクされています。しかし、どの都市にも共通することですが、特に夜間や多額の金銭やその他の貴重品を携帯している場合に学生が取るべき賢明な予防措置があります。学期始めのオリエンテーションの週には、身の安全を守るためのアドバイスが提供されます。また、当学のすべての建物は監視カメラで監視されています。

ワークショップで器材を使う前に、安全に関する機能や器材の正しい操作方法をしっかりと習得するため、すべての学生は経験豊富な技術者による安全研修を受けます。ワークショップには常に技術者がいます。

費用

当学のウェブサイト公開されている授業料に加えて、学生は食事、宿泊施設、交際などの費用の他、特定のプログラムで使う資材のための予算が必要となります。これらは学科や学年（通常は最終年により高くなります）、そして創作する作品のタイプによって大きく異なります。各学科は通常、資材の平均的な費用に関するガイドを作成しています。また、当学はよく使用される資材を一括購入することで、学生がそれらを個別に購入するよりも安い原価で購入できるようにしています。

年度によってはオプションで行ける見学旅行もあり、学生が当学の交換留学プログラムに参加することを決めた場合は、留学先によってはその年度の授業料が高くなる場合があります。

留学生のサポート

当学は、福祉およびビザに関するアドバイス、カウンセリング、英語のサポート、学習サポートおよび進路に関するアドバイスを含む多岐にわたる学生サポートを提供しています。

卒業後の進路

当学の卒業生には、卒業後半年以内にさらに就学したり就職する優れた実績があり、アーティストやデザイナー、建築家として活動したり、芸術運営に従事したり、教育に携わるなど、さまざまな進路のキャリアで活躍しています。

就学後の一定期間働くことが可能だったPost Study Workビザが2012年に廃止されて以来、卒業する学生が卒業後に英国で働くには、ティア1かティア2のビザに切り替えることが必要になりました。詳しくは、こちらのサイトをご覧ください：[gov.uk/browse/visas-immigration/work-visas](https://www.gov.uk/browse/visas-immigration/work-visas)

GSAでの就学中に英国で働くことを検討している留学生は、進路指導担当者に相談して、就業規則や英国での就業をめぐる文化的規範について認識し、仕事を探すのに最適な時期と場所についてアドバイスを受けるようにしてください。